

# 議会で説明して「部外秘」はありえない

—— 11/21 多賀城市議会運営委員会で認識一致 ——



題字は池田和京さんにご揮毫いただきました。

**日本共産党**  
多賀城市議会  
多賀城市留ヶ谷一丁目11番23号  
代表(364)3222  
FAX(309)3910

◇弁護士による  
**法律相談**

◇申込  
電話で予約して下さい。  
◇電話  
364-3222  
◇相談日  
5月2日(水)  
5月15日(火)  
◇時間  
午後1:30~  
◇場所  
旧阿部福商店となり塩釜県民の会事務所

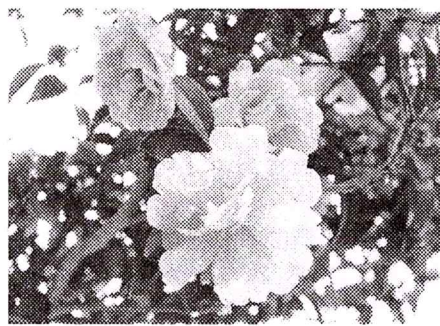
◇議員による  
**暮らしの相談**

電話  
藤原益栄議員  
368-6623  
070-6497-6623  
佐藤恵子議員  
367-0182  
090-2027-9884  
柳原きよし議員  
368-1883  
090-2605-4984  
戸津川はるみ議員  
090-7528-2

11月21日午後開催された多賀城市議会運営委員会で藤原益栄委員は10月10日の資料の取り扱いについて「正規の議会で説明した資料を部外秘とするのはおかしい」と他党派に問いかけました。結果、全会派が「議会は公開が原則でありえない」との認識で一致しました。

市当局が議員に「部外秘」として配布した問題の資料は、10月10日の東日本大震災調査特別委員会で映像により説明し、委員会終了後に各議員に配布したものの(左図参照)。内容的には委員会での説明と全く同じもので、駅北ビルの設計素案でした。藤原委員はまず「地方公務員の守秘義務は地方公務員法によって規定されているが議員はこの法の適用を除外

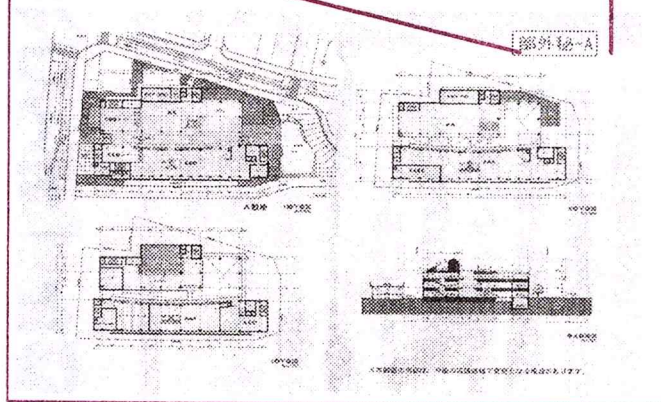
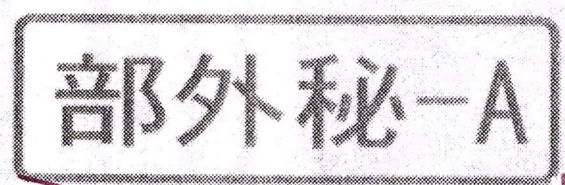
されておらず守秘義務がない。それはなぜか。議員は住民から直接選挙により選ばれており、住民に説明責任を負っているからだ。議会は原則公開なものもそこから来ている。だから、正規の議会で説明した資料を「部外秘」とするなどありえない」「議員にだけ説明し住民に公表せず意見も求めないという態度は、議会の公開原則に反するほか、積極的にハブリックコメントを求めよう」という時代の流れにも逆行している「意思決定過程の文書なのでそういう取り扱いをしたという解釈もあるだろうが、内容は多くの市民が利用する新図書館の設計素案であり、むしろ住民に積極的に公表し意見を求めるべきものだ」と述べ、意見を求めました。他党派からは「議会で説明をしておいて『部外秘』ということはない」「(公明党市議団)、「議会は公開が原則で



**市当局は、新図書館の設計素案を積極的に公開し意見を求めよ**

日本共産党多賀城市議団  
藤原益栄 団長の談話

この問題では党市議団として11月13日に市長と教育長に申し入れをおこないました(2面資料参照)。議運の認識が一致したことは重要です。当局はただちに新図書館設計素案を市民に公表し、広く意見を求めるべきです。



**ちづこ通信**  
15日、厚労委員会で社会保障制度改革プログラム法案が強行採決されました。野党はすべて反対、徹底審議を求めましたが、与党が一方向的に打ち切りました。民主党議員が委員長のマイクや紙を奪うなど、激しい抵抗をしましたが、ある意味パフォーマンスでもあります。私は、委員会で討論の機会を奪われたのです。いろんな意味で、怒りをこめて19日、本会議での反対討論に立ちました。  
ポイントは3つ。民主党が今更反対しようと、基本は昨年の社会保障制度改革推進法に定められていた憲法25条にある国の責務を投げ捨て、社会保障を単なる「負担の見返り」である「保険」として、個人と家族の責任にしまったこと。第2に、詳細な中身は決まっていないのに、将来の法律をしぼり、促進させるプログラムを決めたこと。第3に、検討内容が、介護は必ずしや高齢者医療の負担増、年金引き下げや支給年齢先延ばしなど改悪ぞろいであること。難病患者の40年来の願いだった法制化をはじめ盛り返したのに、大幅な負担増や、認定基準などでふるい分けること「高橋さん、怒りがみなぎっていたよ」と、生活の党の議員から言われました。  
2013年11月19日 衆議院議員 高橋千鶴子

**社会保障解体法案に怒りの反対討論**  
26日夜、衆院本会議で自民、公明、みんなの党の賛成により秘密保護法が可決され参院に送られた。政府が閣議決定をしたのが10月25日、衆院に上程された二週間の暴挙▼「治安維持法の再来」「世紀の悪法」とすこぶる評判の悪いこの法。何を秘密にするかは政府が勝手に決め、国民は何か秘密かもわからない。「個別具体的な判断」により、国民も報道機関も処罰の対象となる▼あまりの評判の悪さに自民・公明両党、「みんな」「維新」を抱きこみ修正……。だがその「修正」によって秘密期間は30年から60年に延長、しかも60年たつて秘密文書は廃棄されることもある。秘密は永遠になるのだ▼こんな悪法許せないと反対の声は急速に広がった。弁護士会、研究者、日本ペンクラブ、ジャーナリスト、演劇人…。21日の東京野外音楽堂の反対集会には一万人が結集。25日の福島での地方公聴会では7人全員が反対のしんぼんを主張▼推進派にも動揺が出始めている。極右で知られる石原慎太郎氏は22日の代議士会で「このごろの動向をながめると、1960年の安保改定時の大騒ぎを思い出す」と述べた。うな。期待に応えさらに運動を広げ、参院では絶対に廃案に!

### 東風城月